

科目名	歴史学概論	英文表記	Introduction to History	2012/3/21		
科目コード	2017					
教員名:下郡剛 技術職員名:				作成		
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	4年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	前後の史実の連関を把握し、歴史を流れで理解できる。日本史をテーマに自ら課題を設定し、根拠を提示しながらプレゼンを行うことができる。					
総合評価	試験50%、PBL研究発表50%で評価する(但しPBL評価の対称は、取り組み・討論の内容等を含む)。					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		
	①	前後の史実の連関を把握し、歴史を流れで理解できる。	⇒	試験による評価		
	②	日本史をテーマに自ら課題を設定し、根拠を提示しながらプレゼンを行うことができる。	⇒	PBLによる評価		
	③		⇒			
			⇒			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4		
	○	○	○	◎		
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。 班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。					
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料					
<b>授 業 計 画</b>						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習 (予習・復習)内容	
1	一年間のガイダンス	2	授業の方針・進め方等についての説明			
2	下総の子犬の話ー鎌倉幕府の中央政務機構と執権政治の成立ー	2	鎌倉幕府の中央政務機構と執権政治の成立を説話史料に基づき理解する			
3	大化改新1	2	大化改新を国家史の視点から理解する			
4	大化改新2	2	大化改新を王権の継承の視点から理解する			
5	壬申の乱	2	壬申の乱を国家史・王権の継承の両視点から理解する			

6	律令国家の成立とその政務機構	2	律令国家成立に伴って編成される政務機構を知識する	
7	PBL班編制	2	PBL班編制(PBL1)と注意事項等の説明	
8	第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、室町時代～昭和までの期間を対称に、班ごとにテーマを設定する(PBL1)	
9	天武天皇後の皇位継承	2	壬申の乱によって直系皇統としての地位を確立した天武系のその後の皇位継承を概観する	
10	聖武天皇後の皇位継承1	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について知識し、異例が多く生じた理由について考える	
11	聖武天皇後の皇位継承2	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について、藤原仲麻呂の乱と道教事件を連動させ、孝謙天皇の皇位継承構想について理解する	
12	桓武天皇の登場	2	桓武天皇登場を語る『扶桑略記』の史料としての信頼性の問題を考える。	
13	桓武天皇後の皇位継承1	2	聖武皇統の断絶により直系皇統が再度天武系から天智系へ移行することを理解する	
14	桓武天皇後の皇位継承2	2	新しい皇統の直系として桓武系が認識されるようになることと、その後の皇統分裂を薬子・承和の両政変を通して考える。	
15	第2回PBL班会議	2	夏休みを前にして、班としての課題と方針を検討す	
期末	期末試験	[1]		
16	第3回PBL班会議	2	後期最初の授業で、次週発表のPBL中間発表のための最終確認を行う。	
17	PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査した内容についての中間報告(PBL1)	
18	第4回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方法をテーマに、班ごとで会議する(PBL1)	
19	摂関政治前史—藤原氏の台	2	大化改新以降の藤原氏の台頭を流れで概観する	
20	摂関政治の成立	2	兼家の時に成立した摂関政治について歴史的意義を理解する	
21	院政の成立と展開	2	摂関政治・院政双方の政治構造の差異を理解することで、古代から中世への移行について考える。	
22	第5回PBL班会議	2	次回の最終班会議の際、班別に事前発表を行えるよう、直前会議を持つ。	
23	第6回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ(PBL1)。希望班については、直前発表を行う。	
24	PBL研究発表1	2	1班によるPBL研究発表と討論	
25	PBL研究発表2	2	2班によるPBL研究発表と討論	
26	PBL研究発表3	2	3班によるPBL研究発表と討論	
27	PBL研究発表4	2	4班によるPBL研究発表と討論	
28	PBL研究発表5	2	5班によるPBL研究発表と討論	
29	PBL研究発表6	2	6班によるPBL研究発表と討論	
30	前近代海上交通と大分磨崖仏	2	前近代における海上交通の意義を時代別に理解し、論点を大分の磨崖仏に及ぼす。現地写真を使用して授業することで、リアリティーある説明を行う。	
期末	期末試験			
学習時間合計		60	実時間	45
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的の所用時間(試行)
①				
②				
③				
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)